

②農村計画学会 2012 年度秋期シンポジウム（第 2 報）

学術交流委員会

日 時：2012 年 12 月 1 日（土） 13 時～17 時 20 分

場 所：島根大学 大学ホール

テーマ：中山間地域における「地域参入者」との新たな協働による活性化

シンポジウムの趣旨

一般に中山間地域では、担い手の不足、資源管理の希薄化、住民サービスの低下、地域社会が有する機能の弱体化、財政状況の悪化などが問題となっている。そのため対策として、新たな担い手像づくり、新たな発想の重視、住民サービスの地元住民による自給、社会的機能の強化・補完体制づくりが進められている。このような取り組みの主体として地域住民や地域行政機関が主翼を担うのはいうまでもないが、地域外部から地域に新たに参入した人々、いわゆる「地域参入者」に寄せられる「活力源」「発想源」「活動主体」としての期待もまた大きい。実際、地域住民、地域行政機関と様々な地域参入者との協働・共生した活動が成果をみせている。同時に、様々な課題にも直面している。

本シンポジウムでは、地域住民、地域行政機関と NPO、ボランティア、I ターン者、社会的起業家などの地域参入者との協働・共生に着目して、その地域活性化に対する展望とあり方について検討したい。そのために、新たな主体と発想の導入など地域産業と地域運営における改革の取り組みに関与しているキーパーソンを招き、それぞれの立場から報告いただくとともに、総合討論により論を深める。

プログラム（案）

開会挨拶（13：00～13：05）

テーマ解題（13：05～13：20）

伊藤勝久（島根大学生物資源科学部教授）

基調講演（13：20～14：05）

「集落存続再生の人的条件」

小川全夫（熊本学園大学社会福祉学部教授）

事例紹介 1（14：05～14：40）

「浜田市弥栄町における地域再生のための社会実験の取り組み（仮題）」

相川陽一（島根県中山間地域研究センター研究員）

事例紹介 2（14：40～15：15）

「邑南町における高齢者福祉と住民による地域サービス（仮題）」

寺本恵子（島根県邑南町 香木の森香楽市代表）

事例紹介 3（15：15～15：50）

「海士町における地元住民と I ターン者の協働による地域再生（仮題）」

西上ありさ（studio-L 海士町まちづくりコーディネーター）

休憩 15：50～16：05

総合討論（16：05～17：15）

コーディネーター：小川全夫、伊藤勝久

パネリスト：講演者

閉会挨拶（17：15～17：20）

公開研究会

日 時：12 月 3 日（月）9：00～12：00（予定） 場 所：松江テルサ

テーマ：農業再建のための制度改革の地域計画論（仮）

主 催：生源寺眞一元会長（名古屋大学）代表の科研グループ（学会員約 15 名で構成されています。）